令和７年度富山市安全で安心なまちづくり推進協議会　議事録（会議概要）

１．日　時　　令和７年１０月７日（火）　午前１０時から１１時まで

２．場　所　　富山市役所東館８階　８０２会議室

３．出席者　　会　長　松下　愼太郎（富山市自治振興連絡協議会）
副会長　西野　満男　（富山市身体障害者福祉協議会）
委　員　石田　圭市郎（富山市ＰＴＡ連絡協議会）
木下　翔太　（富山国際大学）
佐藤　尚子　（富山市小学校長会）
室井　康志　（富山県高等学校長協会）
武部　賢昭　（富山県商工会連合会）
松尾　健佑　（富山県コンビニエンスストア等防犯協会）
松田　真理　（富山中央防犯協会）
山下　行雄　（富山南防犯協会）
山崎　郁子　（富山西防犯協会）
奥野　哲朗　（富山中央警察署）

事務局　防災危機管理部　増山部長、清水次長
危機管理課　谷澤課長、柴野主幹、内田主幹、出島副主幹

４．内　容　　（１）　開　　会
（２）　あいさつ　　防災危機管理部　増山部長
（３）　報　　告　　令和７年上半期の犯罪発生状況について
（４）　議　　事　　富山市安全で安心なまちづくり推進条例に基づく令和７年度の取り組みについて
（５）　閉　　会

５．主な質疑等

①　防犯カメラ補助制度の対象について	
委員	防犯カメラの補助制度の対象地域が「犯罪や不審事案が多発していると認められる地域」と厳しすぎる。児童が通学する小学校近くの町内が防犯カメラを設置したい場合でも、この対象にならず苦慮している。犯罪の少ない地域についても検討していただきたい。
事務局	市が補助対象にしているのは、町内会や自治会、または地元で管理されている防犯組合や自主防犯団体である。地域の防犯活動という目的があるため、地域で防犯活動をされている団体としている。補助対象になる地域・団体については、個別にお話しさせていただきたい。
②　特殊詐欺対策の出前講座について	
委員	障害者団体では特殊詐欺の研修会を毎年１、２回行っているが、この協議会の研修会は実施していない。出前講座をお願いしたら来ていただけるか。また、この協議会のことやまちづくり推進条例について出前講座等で広くＰＲしてほしい。
事務局	特殊詐欺については「出前講座」を危機管理課と消費生活センターで行っている。令和５年度は危機管理課で８回実施し参加人数は１６８名、令和６年度は１１回実施し参加人数は１８１人である。また、高齢者対象のシルバー交通安全教室と併せて実施したものが６回あり、参加人数は１２５人であった。令和７年度も多数の申し込みをいただいている。 当協議会の活動内容については、市のホームページに資料を掲載し、議事録も閲覧できるようにしている。出前講座において犯罪認知件数等を示している中で、この協議会の取り組みも紹介していきたい。
③　公共空間の防犯カメラ設置状況について	
委員	資料の防犯カメラ１３０台について、市が主体となって設置し、ランニングコストも市が負担しているのか。市内の小中学校約９０校に対して、この１３０台で網羅できているのか。
事務局	１３０台の防犯カメラは、導入当初に警察や関係機関の意見を伺いながら市で効果的な場所を選定し、各小学校区に最低１台行き渡るよう場所を選定した。人口や交通の要所などを考慮し、市が市内１３０カ所にカメラを設置している。市内全域を１００パーセント網羅しているという認識ではないが、自治会に補助している防犯カメラと合わせて市内の安全を見守っているという認識である。

④　ふるさと見守り事業の改善状況について	
委員	ふるさと見守り隊の危険箇所発見状況で年間3,000件を超える発見件数があるが、この報告された件数に対してどれだけ改善されているのか。数値で示せるものがあれば教えてほしい。隊員が尽力して報告した危険箇所に対する改善状況をデータで示し、公表をお願いしたい。
事務局	令和６年度に3,005件の指摘箇所の報告が隊員から上がった。道路関係、標識関係、公園関係など様々な項目があるが、市内関係機関に全て情報を提供している。 この件数に対してどこまで対応できたかという振り返りは数値として持っていない。予算の関係もあるため、予算のある箇所や対応可能な場所、危険箇所を優先して取り組んでいる。進め方については関係機関と調整したい。
⑤　熊の出没対応について	
委員	最近、熊の出没が頻発している。小学校は集団登校・集団下校をしている状況だが、この協議会に熊の内容は含まれないのか。別の協議会で議論されるのか。
事務局	熊が出没して大変な状況であり、現在、農林水産部と連携しながら市として対応している。本協議会の中に野生鳥獣等への対応について、どこまで盛り込めるのかについては、一度持ち帰り判断したい。
⑥　児童生徒の安全確保と防犯対策について	
委員	犯罪発生状況は数的に減少傾向にあるが、多くの声かけやつきまとい事案がまだ発生しており、子どもたちを守る必要がある。８月９日の「子ども意見表明交流会」で、生徒から「夕方から夜間にかけて街灯が少なく暗い。部活動などで帰宅が遅くなる生徒の通学路確保や観光客増加への防犯対策のため街を明るくする取り組みが必要」という意見があった。 前任校では地域の防犯カメラ設置により児童が安心したという経緯がある。児童生徒の声を拾い、安全で安心なまちづくりの視点につなげていただきたい。
事務局	大変貴重なご意見をありがとうございました。関係機関等で情報を共有するので、今後ともよろしくお願いしたい。

※発言内容を一部整理して掲載しています。